

# 令和5年度 自己点検・自己評価報告書

(専門学校等評価基準 Ver.3.0 準拠版)

学校法人 ホンダ学園  
ホンダ テクニカル カレッジ 関東

令和6年 5月 1日 作成

# 目 次

基準1	教育理念・目的・育成人材像等	4	基準4	教育成果	28
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	5	4-19	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	29
1-2	学校の特色は何か	6	4-20	資格取得率の向上が図られているか	30
1-3	学校の将来構想を抱いているか	7	4-21	退学率の低減が図られているか	31
基準2	学校運営	8	4-22	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	32
2-4	運営方針は定められているか	9	基準5	学生支援	33
2-5	事業計画は定められているか	10	5-23	就職に関する体制は整備されているか	34
2-6	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	11	5-24	学生相談に関する体制は整備されているか	35
2-7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	12	5-25	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	36
2-8	意思決定システムは確立されているか	14	5-26	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	37
2-9	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	15	5-27	課外活動に対する支援体制は整備されているか	38
基準3	教育活動	16	5-28	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	39
3-10	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	17	5-29	保護者と適切に連携しているか	40
3-11	修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	18	5-30	卒業生への支援体制はあるか	41
3-12	カリキュラムは体系的に編成されているか	19	基準6	教育環境	42
3-13	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	20	6-31	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	43
3-14	キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	21	6-32	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	44
3-15	授業評価の実施・評価体制はあるか	22	6-33	防災に対する体制は整備されているか	45
3-16	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	23	基準7	学生の募集と受け入れ	46
3-17	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	26	7-34	学生募集活動は、適正に行われているか	47
3-18	資格取得の指導体制はあるか	27	7-35	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	48

7-36	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	49
7-37	学納金は妥当なものとなっているか	50
基準 8	財務	51
8-38	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	52
8-39	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	53
8-40	財務について会計監査が適正に行われているか	54
8-41	財務情報公開の体制整備はできているか	55
基準 9	法令等の遵守	56
9-42	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	57
9-43	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	58
9-44	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	59
9-45	自己点検・自己評価結果を公開しているか	60
基準 10	社会貢献	61
10-46	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	62
10-47	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	64

# 基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p><b>【建学の志】</b></p> <p>ホンダ学園は世界に歓迎される人間の育成を使命とする</p> <p><b>【学園の目的】</b></p> <p>チャレンジ精神に溢れ、人に愛され信頼される技術者を育成する</p> <p><b>【育成方針】</b></p> <p>社会に歓迎される為の…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マナーとマインドを磨く</li> <li>・ 実践第一の技術力を学びとる</li> <li>・ 社会貢献の心と行動力を育む</li> </ul> <p>Hondaらしさに溢れ、環境変化に強い学校経営の実現</p>	<p><b>【令和5年度方針】</b></p> <p>本学園では学校経営の根本である「建学の精神」の原点に立ち戻り、「世界に歓迎される人材の育成」に中期目標を定めて取り組んでいる。自動車業界はサービス人材不足から自動車整備専門学校を卒業し国家資格を取得した学生の就職に大きな期待を寄せており、また教育現場も高度化する自動車技術に対応できる人材を輩出するために進化していく必要がある。</p> <p>一方で、18歳人口の減少・大学進学率の上昇・若年層の自動車離れなどにより、自動車整備士を志望する学生が年々減少しており、学生数の減少は学校法人の経営環境にも更なる厳しさとして現れており課題は大きい。</p> <p>このため下記に示す新たな「中期計画（3ヶ年）」を定め、その実現に取り組む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【中期方針】</b></p> <p>Honda のフィロソフィーと企業活動(商品・技術・サービス)をベースとした実践的な技術者教育で、時代にマッチした環境/安全の技術進化に追従し、グローバルで活躍できる整備士・技術者人材を育成する</p> <p><b>【中期重点課題】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 時代にあった教育カリキュラムの確立</li> <li>2. 企業の期待に応える人材の輩出</li> <li>3. 意欲に溢れた学生の確保</li> <li>4. 学園の価値を創出する教職員の育成</li> <li>5. 職場環境改革（ICT/インフラ/働き方）</li> <li>6. 永続的かつ安定的な学校経営基盤の構築</li> </ol> </div> <p>また、重要性に鑑み、以下の3項目を重点管理指標として取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資格取得率：国家試験合格率 全級 100%</li> <li>・ 就職率：100%（内 Honda 関連企業割合 80%以上）</li> <li>・ 入学者数：23年 420名 / 24年 430名 / 25年 430名</li> </ul>

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	理念・目的・育成人材像を定め、明示されている	「建学の志」「学園の目的」「育成方針」として、明確に定められている	課題なし	学校法人ホンダ学園 事業報告書
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	環境変化に追従した中期方針を作成し、方針に紐づく主要施策の進捗状況と課題等を定期的にチェックする	令和5年からの3年間で中期と位置づけた中期方針を定め、その推進計画に沿った活動を実施している	課題なし	カレッジガイド シラバス
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	社会情勢などの環境変化における事柄を考慮し、必要に応じて都度見直しを図る	毎年度末に、計画が適切であったかをチェックし、実績を踏まえて改善や見直しを行っている	学校主体の社会貢献活動については、実施されているものの自発的な社会貢献活動に結びつくための教育を目指す	カレッジガイド シラバス
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	学校運営の基本的な考え方を開示し、教職員及び外部にも周知する	理念・目的・育成人材像等を、教職員及び外部にも周知されている（ホームページ等に記載）	課題なし	カレッジガイド シラバス

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
新たな中期経営計画を核として、年初に教職員に対して共有化を行い、計画的に実行している	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 1-2 学校の特色は何か

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-2-5 学校の特色として挙げられるものがあるか	【建学の志】を原点に Honda の持つ資源 (Honda Cars の最新の取組み・Honda 最新技術・開発手法) を活用して知識と技術を提供できる教育環境を構築する	特色＝差別化と考えている。 他のメーカー校では出来ない特色 (二輪車教育等) =Honda でしか出来ない教育を行う 特に、開発過程の取組みでは、モノ造りのプロセスを実践的に学ぶ教育を実施している	二輪車教育の優位性が薄れてきており、メーカー校ならではの最新技術教育を発展させて行く 教育に必要な設備・教材等は、本田技研工業の協力を得て確保する	カレッジガイド ホームページ

点検中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
本田技研工業、本田技術研究所や Honda Cars にて Honda の考え方や技術力を身に付けた教職員で教育活動を推進している。 また、各校に於ける各学科の特色を高校訪問など通じて広く発信し、学生への認知の向上を図っている	人としての基礎・基本 (マナーなど) を徹底的に体得させ、企業から期待される人材を育成する事を目指している

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

### 1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	学校の将来構想は、環境認識を踏まえ策定した中期方針に基づき、立案・計画・実行する	令和5年度からの3年間を中期と位置付けた中期方針に基づき、各年度の事業計画に基づき実施している	環境変化への対応等が必要	学校法人ホンダ学園 事業報告書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>18 才人口の減少や大学全入、若者のクルマ離れなどの影響により、整備士や技術者を志す学生が年々減少している</p> <p>本学園では、経営改革の道筋をつける 3 年を中期とする中期方針を構築し、全教職員が一丸となって整備士・技術者の育成に取り組んでいる</p>	<p><b>【中期計画の方針】</b> Honda のフィロソフィーと企業活動(商品・技術・サービス)をベースとした実践的な技術者教育で、時代にマッチした環境/安全の技術進化に追随し、グローバルで活躍できる整備士・技術者人材を育成する</p> <p><b>【中期重点課題】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 時代にあった教育カリキュラムの確立 【資格取得率】 100%</li> <li>② 企業の期待に応える人材の輩出 【就職率】 100%</li> <li>③ 意欲に溢れた学生の確保 【入学者数】 関東校 144 名/関西校 140 名</li> <li>④ 学園の価値を創出する教職員の育成 【従業員活性度】(頑張れば報われる環境) 3.46pt</li> <li>⑤ 職場環境改革 (ICT/インフラ/働き方) 【従業員活性度】(働きやすい環境がある) 3.46pt</li> <li>⑥ 永続的かつ安定的な学校経営基盤の構築 【企画進捗】 計画進捗</li> </ol>

最終更新日付	令和 6 年 5 月 1 日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------------	-------	------



## 2-4 運営方針は定められているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	建学の志、学園の目的に基づき、年度の運営方針を明確に定める	年度初めに方針と目標を明確に定めている	課題なし	学校方針
2-4-2 学校運営方針は教職員に明示され、伝わっているか	年度初めに説明を行う	年度初めに方針と目標を明確に説明している	課題なし	学校方針
2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	学校経営に必要な各種諸規定を整備する	各種諸規定は整備されている。学校経営は監督官庁の下に営んでいるので、常に各種規定に必要な最新情報に注視している	課題なし	組織役割・事務分掌、学則、細則

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の目的、目標に基づいた学校運営方針は明確に定められている運用についてもスムーズに展開できている	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 2-5 事業計画は定められているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	学校経営を円滑に営むために、事業計画を定める	年度における事業計画は年度初めに定め、必要な部門に説明している	課題なし	学園方針
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	事業計画作成時に実行計画及び予算計画を示し運営する	事業計画、実行計画及びそれに基づく予算計画を年度初めに定め、必要な部門に説明し進捗を管理している	課題なし	学園方針

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-6 運営組織図はあるか	学園全体の運営組織図を活用し、業務を組織的にスムーズに遂行する	学園組織運営図は、法人本部にて月初めに改廃をし、最新版にしている。教務での役割を示した運営組織図を期初に改定し、運営している	課題なし	ホンダ学園組織図 役割担当表
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	運営組織や意思決定機能は、よりシンプルなものとし、学校の目的、目標を達成するために迅速かつ的確な行動が取れるものとする	組織や委員会機能、会議体など、運営の効率化に向けて適宜見直しを行っている	課題なし	↑
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	教職員の役責を職務分掌で、明確に示すこと	職務分掌と責任は明確になっている	課題なし	組織役割・事務分掌

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
組織図を提示することにより、各自の役割が明確になっている	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	監督官庁から示された基準に基づき定員学生数に対応できる教員の人数を十分に確保する	実学生数に対する教員は十分に確保している	課題なし	国交省一種養成基準書
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	本田技研工業(株)の人事に関する諸規則により、推進する また、常勤（嘱託）教職員については学校法人 ホンダ学園の人事に関する諸規則により推進する	人事考課は、本田技研工業(株)労働協約適用法人として進めている また、常勤（嘱託）教職員については学校法人 ホンダ学園として進めている	課題なし	
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	本田技研工業(株)の人事に関する諸規則により、推進する また、常勤（嘱託）教職員については学校法人 ホンダ学園の人事に関する諸規則により推進する	昇進・昇格は、本田技研工業(株)労働協約適用法人として進めている また、常勤（嘱託）教職員については学校法人 ホンダ学園として進めている	課題なし	
2-7-12 賃金制度は整備されているか	本田技研工業(株)の人事に関する諸規則により、推進する また、常勤（嘱託）教職員については学校法人 ホンダ学園の人事に関する諸規則により推進する	賃金制度は、本田技研工業(株)労働契約適用法人として進めている また、常勤（嘱託）教職員については学校法人 ホンダ学園として進めている	課題なし	

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-13 採用制度は整備されているか	本田技研工業(株)の人事に関する諸規則により、推進する また、常勤（嘱託）教職員については学校法人 ホンダ学園の人事に関する諸規則により推進する	教職員の採用は、本田技研工業(株) 労働協約適用法人として進めている また、常勤（嘱託）教職員については学校法人 ホンダ学園として進めている	課題なし	ホンダ学園組織図
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	教職員の状況を常に把握しておく	常務理事会で情報共有している	課題なし	ホンダ学園組織図

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本田技研工業(株)労働協約適用法人として、運営している また、常勤（嘱託）教職員については学校法人 ホンダ学園として運営している	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 2-8 意思決定システムは確立されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-8-15 意思決定のシステムは確立されているか	最終決定機関の理事会・評議員会と運営意思決定機関である常務理事会を運営する 両校では、部課長会、教育会議、リーダー会議で意思決定する	年3回の理事会・評議員会と月1回の常務理事会を開催している 両校では週1回の部課長会、週1回のリーダー会議、隔週1回の職員会議と教育会議が運営されている	課題なし	ホンダ学園 運営規程
2-8-16 意思決定のプロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	最終決定機関の理事会・評議員会と運営意思決定機関である常務理事会を制度化する	定期開催をしている	課題なし	ホンダ学園 運営規程
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か	理事長を最終決定者として理事会・評議員会を運営し、常務理事を運営意志決定機関の決定者として常務理事会を運営する	定期開催をしている	課題なし	ホンダ学園 寄附行為 ホンダ学園 運営規程

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
必要な会議を定期的で開催しており、意思決定システムは効果的に運営されている	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	学園独自システム（学事と財務）と Honda グループのシステムを併用し運用する	学事システム、財務システム、Notes、Outlook、Teams、出張外出、勤怠管理システムを活用している	学事システム、財務システムについて、将来を見据えた更なる効率化のための更新を行う	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 基準 3 教育活動

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>創設者である本田宗一郎が掲げた「世界に歓迎される人間の育成」を基本に、「マナーとマインドを磨く」「実践第一の技術力を学びとる」「社会貢献の心と行動力を育む」という育成方針に基づき教育を行っている</p> <p>最近時、明確で強い動機を持って入学する学生が減少しており、更に困難なことを避ける傾向でもあるため、早期に進路変更に至ってしまう学生も少なくないことから、自動車業界に就く意欲の醸成が重要かつ急務である （就学意欲の醸成）</p> <p>また、入学する学生の基礎学力低下傾向は強まる方向であることから、学生個々の実力把握と弱点補強が欠かせなくなっている （基礎学力の強化）</p> <p>留学生が満足に学生生活を送れるよう、就学環境を整え、就職支援も強化する必要がある （留学生対応の強化）</p> <p>上記のような学生を、卒業後即戦力となり得る世界に歓迎される人材とするため、全教職員で日々の教育活動に全力で取り組んでいる</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入学前教育（入学予定者への事前教育） 多様な進路からの進学を考慮して、学力向上を目指す 合格通知と同時実施の学力調査で基礎学力が不足する学生対象 入学後に必要な数学と読解力の通信教育提供 （受講実績 対象者 新入学生 167 人中 28 人受講）</li> <li>2. 入学時イベント 入学時教育の一環として、オリエンテーション研修を開催し、全員参加</li> <li>3. 企業ニーズに則したカリキュラム             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 卒業生企業CS調査を行い、企業のニーズに則した授業実施</li> <li>② 業界団体、及び関連企業の委員で組織する「教育課程編成委員会」からの提言を取り入れたカリキュラム編成</li> </ol> </li> <li>4. 教員指導力の向上             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 各種資格取得推進（一級自動車整備士資格等）</li> <li>② 外部研修受講推進（JAMCA 研修・埼玉県専修学校各種学校教員研修会・ワークショップ形式の実践型研修） 教員の学年単元間ジョブローテーション</li> </ol> </li> </ol>

最終更新日付	令和 6 年 5 月 1 日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------------	-------	-------



<b>3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか</b>
--

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	卒業生就職先の満足度向上を図る	概ね高い評価を得ているが、さらに弱点、及び強化項目の把握と対応策検討と実施	就職先により、評価が異なることがある 安定的に高評価となるよう、カリキュラムの見直し、および教員の指導力強化を図る	企業CS調査資料

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> <li>企業CS評価が低い項目を重点的に取り組んだ。評価の低い項目に対し、優先順位を決めて対策を実施(販社システム授業強化)した</li> </ul>	<p>① 国家試験合格率向上および合格率100%達成に向けた教育の継続</p> <p>一級・二級共通の施策として</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 低レベル者を早期に見極め、個別レベル向上対応実施(基本復習)</li> <li>2) 学生個々のレベルに応じ、弱点部分の管理と指導に取り組んだ</li> </ol> <p>② 企業CS評価として就職先となる整備系と製造系の企業に分け、年次傾向が把握できる様に充実したアンケート内容に改定した。次年度施策にフィードバックさせる</p> <p>一部WEBアンケートを活用し、スムーズでタイムリーにフィードバックした</p>

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------	-------	-------

## 3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を達成する知識、技術、人間性等は、業界が求めるレベルに適合しているか、また、レベルに到達することが可能な修業年限となっているか	1、2年次全科、3、4年次自動車整備系学科においては、国土交通省基準の教育科目の設定があり、卒業時には全科目基準以上のレベルとなるためのカリキュラムとする 3、4年次自動車開発系学科においては、企業ニーズを満たしたカリキュラムとする	【自動車整備系】 自動車の電子制御化が進んでいることから、PU (Power Unit) ・シャシの2単元制とし、電子制御を含めた総合的なカリキュラムとし、一級課程では高度故障診断の授業を強化していく 【自動車開発系】 自動車整備の基本を学んだ後に、開発・設計に関する知識を学ぶ事で、より理解度を高めていく	【自動車整備系】 学生の基礎学力、意欲低下が問題であり、特に1年生の指導方法の強化が必要である。2年制4年制それぞれの、1年毎の育成像を明確化し実行していく 【自動車開発系】 部品開発演習や卒業研究といったカリキュラムをより実践的な内容にし、また電子制御系の授業も充実を図っている	進級卒業認定資料 指導記録 指導要領

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育到達レベルと照らし合わせ、以下のとおり総括した ・整備系学科においては、整備士資格取得・社会人基礎力・サービス実務能力等において、充実させるカリキュラム構成としている ・開発系学科において、実習体験プログラムの充実に向けての施策展開が必要であり、開発プロセス・製造技術のプロセスを学ぶ授業を展開している ・自動車の電動化及び電子制御化が進む中、卒業後、HEV、EVなどにも十分に対応可能な人材とすべく、電気（電子）に関し、分かりやすい授業を追求している	物理を学ばずに入学した学生が多数おり、電子制御の基本を理解するために、多くの努力を要する学生が多い。自動車整備系学科、自動車開発系学科ともに、1年次当初から電気に関する授業を行っており、目に見えない電気を理解し易い教材を用いて理解を深める内容としている

最終更新日付

令和6年5月1日

記載責任者

達富 由樹

## 3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	各科修業年限を基準とし、卒業までに目標達成可能なカリキュラムとするため、各学年の目標を明確にする	各科、学年毎の育成目標の明示 新学期開始時、学生個々に前年を振り返り、目標に到達しているかを各自確認させている	課題なし	指導要領
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	卒業生企業 CS 調査結果から、低満足度項目の改善のための施策をカリキュラムに反映する	調査の中で、卒業生評価と同時に、当校に求める教育内容を確認している また教育課程編成委員会での意見、提言も反映している	課題なし	卒業生企業 CS 調査結果報告 教育課程編成委員会議事録
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	年度ごとに、組織図、及び役務を明確化する	学年ごとに、学年主任と単元リーダーおよびサブリーダーを中心に組織編成している	課題なし	組織図 教務役割表
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	科、学年、単元毎に毎年確認、見直しを行う	前年度末に各科、各学年、単元内で見直している。大改定は部、課、科全体で協議し決定する	課題なし	指導要領 シラバス

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自動車整備系カリキュラムの基本となるものは国土交通省の科目設定であるが、その中で企業と学生が欲する内容とするために毎年内容を再検討している。その結果、新機構、新技術など必要なものは都度変更している 自動車開発系のカリキュラムについては、時代進化や社会動向、企業ニーズに基づいて見直している	自動車整備系においては Honda 車を基本としたカリキュラムとなっている  自動車開発系においては、一般的な開発手法だけでなく Honda 特有の開発プロセスを学ぶことができる専用のカリキュラムとなっている

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------	-------	-------

<b>3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか</b>
---

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	すべて適正な位置づけであるよう、適時確認し見直しを行う	学則、育成目標と照らし合わせ、確認している	課題なし	指導要領
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	毎年度、シラバスまたは指導要領を作成する	共有サーバーに保存し、教職員の誰もが閲覧可能としている	課題なし	指導要領
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	コマシラバス、または1時限毎の指導要領を作成する	共有サーバーに保存し、教職員の誰もが閲覧可能としている	課題なし	指導要領

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
明確にした文書管理規定に基づき、シラバス、指導要領の閲覧を可能とし、保管場所を定め分かりやすくした	自動車整備系と自動車開発系のカリキュラム、時間構成等が大きく異なるため、フォーマット（シラバス、指導要領）を統一し、各科に合わせて時間構成を適切に配分している

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------	-------	-------

## 3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-14-10 キャリア教育が行われているか	入学当初から自動車業界へ就くための意識醸成を実施 卒業後即戦力となるための業界関連の教育を行う	卒業生を招いた講話やディスカッションを実施 自動車業界の情報提供 社会人講師による授業・工場、各種インターンシップを実施	課題なし	特になし
3-14-11 キャリア教育の実効性は検証されているか	企業満足度を高める	卒業から7～9か月経過後、就職先企業に満足度調査を実施 企業実習、インターンシップによる意見を反映	課題なし	卒業生企業CS調査 企業実習CS調査

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
技術だけでなく、マナーとマインドを持った人材とするため、専門科目以外に「接客実務」「安全運転」等の一般科目に加え、社会的弱者に対する考え方を学ぶ機会も設け、実施している	「安全運転」は外部の専門機関により教育している 事件事例を用いて、学生に対する安全運転の啓蒙活動を日々実施している

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------	-------	-------

## 3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-15-12 学生による授業評価を実施しているか	学生アンケートを実施	各授業終了後、学生による授業アンケートを実施している	アンケート結果より具体的な授業に反映させる	学生アンケート結果
3-15-13 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	授業を聴講し、アドバイス、または評価を行う	授業の聴講に加え、学生による授業アンケートにより、教育のバラツキがないか評価し、必要に応じて指導強化を図った	課題なし	特になし

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
授業単元・学年毎に授業終了後、学生アンケートを実施し、アンケートの結果を教員へフィードバックした	WEBアンケートを用いて、スムーズでタイムリーなフィードバックとしている

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------	-------	-------

## 3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-16-14 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	<p>【自動車整備系】 国土交通省基準を満たす者を選任する</p> <p>【自動車開発系】 コース内容に合わせて専門性を重視する</p>	確保出来ている	学生数に対応する学科構成となる教員を配置する	組織図
3-16-15 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	<p>【自動車整備系】 国家資格二級以上保有実務経験3年以上</p> <p>【自動車開発系】 開発・設計・加工等の専門性を有している</p>	十分対応している	課題なし	教育を行う者の名簿
3-16-16 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	職員個々の経歴、資格等の適切な管理	教育を行う者の名簿として、各種経歴と資格を管理している	課題なし	教育を行う者の名簿
3-16-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	<p>【自動車整備系】 一級資格保有者増員</p> <p>【自動車開発系】 新たな技術領域（教育領域）の拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業時間内での自己学習を認めており、資料のみならず、学習の機会を提供している</li> <li>・ソフトウェア開発技術など Honda 協力会社の研修に参加し、専門の書籍を導入している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合格率の向上</li> <li>・授業の幅を広げるため、他領域の社外研修へ参画する</li> </ul>	特になし

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-16-18 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	授業内容評価し、アドバイスを実施する	単元、学年で相互に確認し、アドバイスをを行っている	各課長による授業評価を導入する	特になし
3-16-19 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	教員の相互聴講を行う 外部セミナー等を受講する	共創型コンサルによるインストラクショナルワークショップ開催 自動車専門学校協会主催研修 埼玉県専門学校各種学校協会主催教員研修	教員相互の聴講とアドバイスを実施 適切な外部講習等を受講を推進する	教員研修実績表
3-16-20 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	学生指導時間確保のための授業担当時間を調整する	学年毎に適切に協業出来ている	課題なし	特になし
3-16-21 非常勤講師間で適切に協業しているか	非常勤講師間での協業を強化する	それぞれの専門性を活かした授業と教材を共有する	必要に応じて相互に情報共有を推進する	特になし



点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-16-22 非常勤講師の採用基準は明確か	<p>【自動車整備系】 国交省基準に則していること</p> <p>【自動車開発系】 科目に必要な専門性を有していること</p>	明確になっている	課題なし	特になし

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
基本的に当校OB、Honda 研究開発経験者、および Honda ディーラー経験者を採用している	実践的な授業を特色とするため、Honda 関連での就労経験スキルを効果的に活用している

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------	-------	-------

## 3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-17-23 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	学則、試験規程に従った評価、及び単位認定を行う	学則、試験規程に基づき、適切に評価、認定を行っている	課題なし	学則・細則 試験規程
3-17-24 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	大学の単位変換を基本とする	当校は 90 分単位の授業であるが、50 分単位に変換後大学の単位変換基準に基づき算出している	課題なし	特になし

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
すべての科目は学則、規程に基づき、評価・認定を行っている また、評価基準、認定基準は、全員が把握している	特になし

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------	-------	-------

## 3-18 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-18-25 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	・自動車整備系 国家整備士資格 一級・二級	明確に定められている	課題なし	特になし
3-18-26 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	【自動車整備系】 国家整備士資格取得に準拠した、国交省基準の授業を包括した学科・実習を実施している  【その他の資格】 就職先ニーズから必要な資格を取得させる (危険物・損保・低圧電気 ・Honda 社内資格サービスエンジニア 2 級・3 級)	「整備士資格」 ・早期の弱点明確化 ・学力レベル分けによる、能力別クラス編成  「その他の資格」 ・資格取得の重要性を再説明 エントリーフォロー・補講などの環境の整備体制を整えた	課題なし	特になし

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
整備士資格以外の資格について具体的な活用実態を伝え必要性の認識を高めた	オンデマンド授業を継続して活用している より高度な資格である危険物乙種四類への挑戦に取り組んでいる

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------	-------	-------

## 基準 4 教育成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職活動について、早期に内定を獲得する学生もいる中、就職活動に積極的でない学生も少なくない。入学当初からの就職意識醸成が必要である</p> <p>各種試験合格率について、本年度の合格率は、二級はガソリン・ジーゼルともに 100%となったが、一級は達成できなかった。100%合格を確実なものとするため、登録試験対策にのみならず通常の授業理解力向上が必須である</p> <p>退学率については 3.0%以下を目標に取り組んだ。令和 4 年度より低下したが、目標未達であった</p> <p>成績不振による退学が大きな要因であるため、入学後だけでなく入学前の個々の学生情報を全教職員で共有し成績不振学生の早期にフォローする</p> <p>自動車、バイクや技術に興味希薄な学生にも学ぶ楽しさを実感してもらう様に、導入授業に時間を割く また学生個々の修学状況と就職・進路希望に沿った学生指導を実施していく</p> <p>社会的な活躍と評価については、企業からの募集も増加傾向であることから、卒業生が国内の自動車業界で必要とされる人材となっていることが伺える。その結果、卒業生に対する企業 CS 調査において高い評価を得ている</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 就職状況               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 就職希望者の就職内定率 100%達成</li> </ol> </li> <li>2. 各種試験合格率               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 一級整備士資格筆記合格率：89.4%（7名不合格）</li> <li>② 二級整備士資格（ガソリン）合格率：100%</li> <li>二級整備士資格（ジーゼル）合格率：100%</li> </ol> </li> <li>3. 退学率               <ol style="list-style-type: none"> <li>①退学率：5.57%（33名）</li> </ol> </li> </ol>

最終更新日付	令和 6 年 5 月 1 日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------------	-------	-------

## 4-19 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-19-1 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	学校斡旋で就職活動を行う学生については、学生が希望する企業に就職ができるよう進路指導を実施し、責任をもって全員の内定を得ている	令和4年度も内定率は目標の100%を達成している 留学生(外国籍含む)も全員内定した	課題なし	・科別進路状況 ・管理ボード
4-19-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	内定状況を教職員及び学生が共有し、改善に導く体制を取っている	日毎、月毎に就職状況について表及びグラフを作成し掲示することで共有化を図っている。また、求人状況においても同様に行っている	課題なし	・科別進路状況 ・管理ボード

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学生と企業との希望がマッチングする様、学生、担任、就職担当職員が三位一体で推進し、内定率100%(留学生含む)を達成している	内定率は例年100%で推移しており、第一希望内定率も88%と目標の75%を達成している

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------	-------	-------

## 4-20 資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-20-3 資格取得率の向上が図られているか	すべての資格試験合格率100%を目指す (目標資格:自動車整備士資格/損保資格/危険物取扱資格/低圧電気特別教育/Honda 社内資格サービスエンジニア 2級・3級)	<ul style="list-style-type: none"> <li>低成績学生の早期抽出</li> <li>個人別長期学習計画の提示</li> <li>自分の位置づけ(成績順位)を認識できる仕組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低理解および取得意欲の不足 学生が課題</li> <li>対策として、 1) 成績向上を実感できる仕組み 2) 資格の重要性を説明</li> </ul>	プロジェクト報告資料
4-20-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	資格試験結果100%管理	学生管理システムに登録し管理している 試験終了後の結果検証及び報告実施を進めている	・不合格者の卒業後のサポートを継続する	登録試験結果報告

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
・整備士資格試験合格率は、プロジェクトとして施策を計画的に推進し、二級は目標達成した	学生の個別成績を分析し、タイムリーにフィードバックすることで自分の弱点に対して要点を学ぶことができるようにした 成績別クラスで低成績にとどまったグループに対しては一人ひとりに熱心に指導する教員体制をとり、一体感を以て学ぶことで一人残らず資格取得を達成させることができた

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------	-------	-------

## 4-21 退学率の低減が図られているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-21-5 退学率の低減が図られているか	退学率削減 特に1年生の退学率削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学時イベント実施(就学意欲の醸成)</li> <li>・技術への興味がわくカリキュラムを導入した</li> <li>・就職意識向上のため、企業・卒業生等の講話を活用</li> <li>・課題学生の、就職内定先を探索</li> <li>・教員全員での指導を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度より減少したが目標未達</li> <li>・進路変更に至る学生が多い為、入試見極めと1年生学生のさらなる意欲醸成が課題</li> </ul>	特になし
4-21-6 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	退学者情報の即時共有	教務部としての集計と、教職員が閲覧可能な場所に情報を保存し共有している	課題なし	在籍人数表

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
退学者減に向けて、教職員は、十分な認識、危機感を持って取り組んでいる本年度は、1年生の退学者が全体の約52%を占めており、1年生の退学削減に向けた取組みの継続が必須である。更なる学力・生活力が不足する学生に対してのフォローが必要と考える	退学者を削減するために、学生情報を全教員に向け早期に共有し、全教員で生活・学力サポートを中心に指導している

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------	-------	-------

## 4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-22-7 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	企業CS調査を実施して評価を把握し、対応を図る	卒業生が入社から7から9ヶ月程度を経過後、アンケート形式による満足度調査を実施 在校生は、褒賞制度により善行表彰を実施	課題なし	企業CS調査
4-22-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	毎年開催のHondaのサービス技術コンクールなどを評価の基準とする	Hondaのサービス技術コンクールにて毎年上位を占めている	課題なし	特になし
4-22-9 在学学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	開発系学科における卒業研究の取り組みと就職先企業を招いた発表会での評価	Honda特有の開発プロセスに沿ったカリキュラムである卒業研究において、グループによる1年間の活動に対し数回の発表会を実施	課題なし	報告資料
4-22-10 在学学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか	開発系学科における卒業研究の取り組みと就職先企業を招いた発表会での評価	発表会では製作物の実動体験会、資料を用いたプレゼンテーション、仕様書・図面などのドキュメント提示について、教職員、後援会役員、関連企業の担当者により評価	課題なし	報告資料

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
企業CS調査において、卒業生は概ね一定の評価を頂いている。一部低評価の卒業生も存在することから、その検証と、在校生への対応に活かして行く	学内での発表にとどまっていた卒業研究の発表会を、広く学校関係者、関連企業を招いて開示することで、学校教育活動を認識してもらうことができた

最終更新日付

令和6年5月1日

記載責任者

達富 由樹



## 基準5 学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職に関して、専任職員を配置し、常時学生への対応が行える環境としている</p> <p>学生相談室（カウンセリングルーム）を設置、学生が教職員を通さず、相談が出来る環境としている</p> <p>奨学金制度は活用可能としている</p> <p>学生の健康管理について、定期健診を行っている</p> <p>学生の生活環境への支援として、寮を完備している</p> <p>保護者との連携は、担任を通じて適時行っている</p> <p>課外活動について、後援会からの支援を基本とし、全学生に対しクラブ活動への参加を推奨している</p>	<p>就職相談室を設け、各種情報を常時配信している</p> <p>外部からカウンセラーを招き、毎週火曜日を相談日としている</p> <p>公の奨学金制度に加え、独自の奨学金制度も用意している</p> <p>学年ごとに全員を対象に行っている ※新型コロナ禍にて時期を変更</p> <p>希望者には近隣アパートも紹介している</p> <p>学生の成績はもちろん、生活状況などについても適時連絡し、保護者と協力して学生指導を行っている</p> <p>現在は12種類のクラブ、8種類の同好会が学生主体で活動中であり、学生の要請に応え、新たなクラブ発足も可能としている</p>

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	横田 俊幸
--------	----------	-------	-------

## 5-23 就職に関する体制は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-23-1 就職相談室の設置など就職支援に関する体制は整備されているか	学生が求人情報などの詳細な情報を収集できる就職相談室を配備。専任の指導教諭が個々に進路指導を支援する体制を整備し進路先と連絡を取り合い、担任を交えて学生とのコミュニケーションを図る	学生が自由に利用できる環境を整備。企業様が何時でも学生に対してセミナーが実施出来る様、個別ブースも設置。また、専任教諭を置き、個別相談や面談指導等も実施	就職支援サポート強化を更に向上させるために、『企業情報をいつでもどこでも見られる体制強化』が課題	
5-23-2 就職に関する説明会を実施しているか	就職する意味、目的理解や早く就職活動をスタートさせ、モチベーションを持続させることが重要であるため、11月の賛助会企業セミナーまでに様々な研修を開催している	卒業前年度の7月に、就職キックオフ→企業研究会→企業セミナーを開催し、就活のモチベーションを養い、持続させ、11月の賛助会企業セミナーを実施している	就職キックオフや企業研究会・企業セミナーを実施、学生の準備期間を十分に確保し、第一希望内定率を高める	賛助会セミナー企画書
5-23-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	学務室職員が学生に寄り添い、個別対応体制をとっている	随時、適切なアドバイスを実施すると共にクラス担任や部課長も必要に応じて個別相談・面接指導を行っている	課題なし	
5-23-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方等)に関する指導を実施しているか	面接指導や履歴書の書き方や個別指導実施を行っている	個別指導の強化を図った。特に面接・SPI対策試験等	課題なし	事前指導教育カリキュラム

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
年々、開発系の学生が増加し、求人企業の開拓を図る為、企業訪問等を積極的に展開。また、賛助会企業とのコミュニケーションを図ることで数多くの就職先を確保。その結果、就職内定率は毎年100%の実績。学校の重点管理項目である第一志望内定率も88%と高い成果を上げることができた	学園を支援する賛助会へ加入の企業様は331社となっている

最終更新日付

令和6年5月1日

記載責任者

横田 俊幸

## 5-24 学生相談に関する体制は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-24-5 学生相談室の設置など学生相談に関する体制は整備されているか	学生生活で出会う様々な事柄について、共に考え話し合いにより、充実した学園生活となる場の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリング室の設置</li> <li>・担任による学生との面談実施</li> <li>・女子学生、留学生に対しては、学務室職員が窓口となり対応</li> <li>・ホットライン開設</li> </ul>	課題なし	キャンパスガイド
5-24-6 学生からの相談に応じる専任カウンセラーがいるか	学習上の悩みや人間関係、メンタル面について、安心して相談できる環境作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任カウンセリングの実施（毎週火曜日実施）</li> <li>・教職員に対するフィードバック実施（学生への指導の仕方等）</li> </ul>	課題なし	キャンパスガイド
5-24-7 留学生に対する学生相談体制は整備されているか	留学生に限らず全学生同レベルの相談体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任カウンセリングの実施</li> <li>・学務室に留学生担当を設置</li> <li>・留学生への情報共有会実施</li> </ul>	課題なし	キャンパスガイド

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>専任カウンセラーによる学生相談と学務室職員による相談体制を構築し、学生対応を図った。今年度も、専任カウンセラーによる教職員へのフィードバック（指導の在り方等）を行い、学生へのきめ細かな対応と早期解決に向けた取り組みを行った</p> <p>また、留学生に関しては、留学生支援計画を立案し定期的に留学生情報共有会を開催。また、相談窓口も設置し体制強化を図った</p>	

最終更新日付

令和6年5月1日

記載責任者

横田 俊幸

## 5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-25-8 奨学金制度は整備されているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭の経済的事情に左右されることなく、学ぶ意欲旺盛な学生がより多くホンダ学園に入学できること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホンダ学園賛助会奨学金適用</li> <li>日本学生支援機構奨学金適用</li> <li>学園独自の給付型奨学金適用</li> <li>教育訓練給付金適用(社会人)</li> <li>高等教育の就学支援制度導入</li> <li>企業奨学金制度の新規導入</li> </ul>	賛助会奨学金制度の見直しを図り、企業奨学金制度を新規導入	学生募集要項 奨学金説明資料
5-25-9 学費の分納制度はあるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭の一時的な経済負担の解消となる制度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>半年毎の分納制度実施</li> </ul>	一部学生の学費納入の遅延が課題であり、生活指導を含め支援を推進	学生募集要項

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホンダ学園賛助会奨学金制度(貸与型)で、より多くの学生への支援を行っている。特に整備士を目指す学生への支援として企業推薦制度の導入を図り、入学した学生への優先貸与を図っている</li> <li>給付型奨学金制度(進路変更奨学金・親族奨学金、エコラン・Ene-1・エコデン奨学金、留学生奨学金、三級自動車整備士奨学金、本田宗一郎特待生の改定)により、学生への経済的側面に対する支援強化を図った</li> <li>年々、奨学金借入れ学生が増加する中で、教育訓練給付金の適用や高等教育の就学支援制度など、学生への支援体制を更に強化した</li> <li>2023年度入学生から企業奨学金制度を導入、賛助会加盟の販売会社と連携し、返済免除特典など同業他校に引けを取らない新たな制度を導入、整備士就職を目指す学生の経済的支援を今後も進めていく</li> </ul>	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	横田 俊幸
--------	----------	-------	-------

## 5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-26-10 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	健康診断(1回/年)を実施し、健康的に生き活きに学生生活を過ごしてもらう	1回/年の定期健康診断(学生/職員100%受診)	課題なし	年度カレンダー
5-26-11 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	学生の健康管理面をバックアップする	校医(学校指定病院)によるアフターケア実施	課題なし	組織図 学校医委嘱受諾書

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学生・教職員全員に対する定期健康診断を実施した 今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から手洗い・検温・消毒等を行い感染対策の徹底を図り、学生への対応を図った。 一方、インフルエンザの拡大防止として学生・教職員希望者に対して予防接種を行った また、毎月、安全衛生委員会を開催し、教室・実習場等の巡視を行い、改善が必要な場合は、即対応を図り、健康管理だけではなく、安全・衛生含め強化を行った</p>	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	横田 俊幸
--------	----------	-------	-------

## 5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-27-12 スポーツ等のクラブ活動、その他、課外活動に対する支援体制は整備されているか	すべての部活動に公平に支援を行う (後援会からの支援を基本とする)	年初に全部・同好会の活動計画及び予算計画を取りまとめ、予算を決定、配分する 後援会役員会にて承認を頂き、活動実施。活動にあたっては、校内施設、設備、公用車等の使用を許可。また、企業から部・同好会への支援も頂き、特に車両購入及び制作費等に活用 学生の加入率は70%以上	課題なし	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
新型コロナ感染拡大防止の観点を踏まえ、感染防止策を徹底し、活動を実施した。モータースポーツ系の部も全国大会に出場し好成績を上げることができた	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	横田 俊幸
--------	----------	-------	-------

## 5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-28-13 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔地学生に対する経済的負担解消</li> <li>・入寮を希望する学生対象に寮を用意</li> <li>・新生活における不安解消</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大井寮入寮学生CS向上に向けた取組みを実施</li> <li>・昨年に引き続き、環境整備（共用部分床面の剥離措置）を実施した</li> </ul>	新型コロナ感染者（クラスター含む）を出さないため、寮生への意識づけと感染対策の徹底	カレッジガイド 学生募集要項 学校ホームページ アパート情報

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生寮の最適な生活環境を図るためにフロアリーダー制を取り入れ、先輩が後輩の相談及び指導する体制を構築し、新入生の不安払拭への対応を行っている</p> <p>また、新型コロナウイルスやインフルエンザ等による感染症拡大防止の観点から体調不調者のための部屋を用意し、寮生が安心・安全で生活できる環境を整備・運用した。</p> <p>これにより、寮内におけるクラスター発生をゼロに封じ込めることができた</p> <p>大井寮入寮者のCSを行った結果、老朽化関する不満の声があり、解決に向けた改善策として、共用部分廊下タイルの剥離策を講じ、住環境の整備を行った。引き続き、学生が快適な寮生活が送れる様に今後も対応を図っていく</p> <p>女子寮に関しては、大きな問題無く運営ができています</p>	

最終更新日付

令和6年5月1日

記載責任者

達富 由樹

## 5-29 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-29-14 保護者と適切に連携しているか	学生が学業と学園生活を充実するために必要に応じその都度連携を行う	必要に応じて、保護者との面談や学生を交えて三者面談の実施を行った	特に問題なし	キャンパスガイド

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
出席状況、成績状況など、必要に応じ保護者に電話連絡及び、来校いただき、学生本人、担任、各課長を含め面談を実施した また、保護者様にご協力して頂き、学生への適切な指導を行った	状況に応じ、単元リーダー、教務主任、課長、部長などが三者面談を行う

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------	-------	-------



## 5-30 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-30-15 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	同窓会組織があること	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から本年度も、同窓会役員会議の開催はなし	課題なし	同窓会組織体制図 同窓会規定
5-30-16 卒業生をフォローアップする体制が整備されているか	・卒業生の就職先での活躍と現状況確認を行い、就職先の卒業生への期待と学園との信頼関係の強化構築	離職者への再就職支援を状況に合わせて対応	課題なし	卒業生データベース

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
令和5年度は、新型コロナウイルス感染を考慮し同窓会役員会議の開催はなし 令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら開催を検討したい	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	横田 俊幸
--------	----------	-------	-------

## 基準 6 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育施設、設備等は、設置基準及び法令にも基づき整備されている実習上、教室はもちろんの事、パソコンルーム、図書室、食堂、クラブハウス、体育館等設置をしている</p> <p>又、学外での教育については、販売会社見学、企業実習、インターンシップ、および海外研修を行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育施設では、特に実習場は全て冷暖房完備でより良い環境である</li> <li>・車両教材も定期的に入れ替えを実施した</li> </ul> <p>具体的には、インサイト 6 台導入</p> <p>その他として、開発系ものづくり領域において加工実践設備を導入し充実を図った</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学科教室での WEB 授業化対応</li> <li>・毎年実施しているインターシップは、販売会社への受入をお願いし実施した。また、本田技術研究所やティアワンメーカー様は、Web でのインターシップで対応して頂いた</li> <li>・海外インターシップはオーストラリアの現地販売会社の協力を頂いて就労研修を実施した。研修のまとめとしてお世話になった方々にむけて英語で自己プレゼンテーションし、帰国後は最終発表会で自身の経験を振り返った</li> </ul>

最終更新日付	令和 6 年 5 月 1 日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------------	-------	-------

<b>6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</b>
--

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-31-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	・教育上に必要なものは、不足のないよう必要に応じて、十分に対応できるよう整備	事業計画で教育上必要な機器や設備は整備	課題なし	事業計画
6-31-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備されているか	・Hondaの安全に対する基本的な考えである「安全なくして生産なし」に基づき整備	各施設、設備の専門業者との契約締結し定期点検実施	課題なし	事業計画
6-31-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	・事業計画に基づき施設・設備の更新を実行	設備教材を導入した <ul style="list-style-type: none"> <li>・EV充電設備設置</li> <li>・塗装ブース設置</li> <li>・三次元測定機導入</li> <li>・モーター特性試験装置導入</li> </ul>	課題なし	事業計画

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>整備系学科（サービスエンジニア学科、一級自動車整備学科）の設備は、国土交通省一種養成施設の認定基準を満たしており、特に設備の法定点検実施や設備の維持/メンテナンスはもとより、安全衛生委員会主導による3Sの徹底を図っている</p> <p>また、教育の質向上や新技術領域の拡充を目的に、塗装ブースやEV充電設備を設置し、三次元測定機を導入した</p>	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------	-------	-------

## 6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-32-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	一級課程、二級課程ともに全企業とインターンシップ契約を取り交わしている 開発・設計工学コースにおいては企業を学校に招き実務実習を実施している	社会、現場を知る大きなチャンスと捉え、Honda グループ、内定先企業に協力を得て、積極的に取り組んでいる	課題なし 令和4年度同様、一級課程の体験実習（インターンシップ）以外に、企業実習としてのインターンシップを実施した	
6-32-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	体験実習先企業様からの考課表 100%回収	自動車整備系学科は企業様からの回答をいただき、体験実習、インターンシップの評価として管理している	一部、実社会の厳しさから意欲を喪失する学生がいる 学生に寄り添ったフォローを継続する	企業実習、インターンシップ評価表

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
一級課程については、国交省の規程に則し、認証工場での実習を全員実施時間数に於いても、国交省基準を上回る時間を実施している ものづくりインターンシップの開催が増加し、将来の進路にも大きく好影響を与えている	企業実習、インターンシップは授業の一環としている為、対象学年は全員参加

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------	-------	-------

## 6-33 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-33-6 防災に対する体制は整備されているか	・いつ何時の有事発生時に備えた防災体制整備	・防災体制の整備 ・Hondaの防災体制との連携 ・有事発生時の学生、教職員の安否確認実施(年2回)	課題なし	・防災体制 ・防災計画 ・防災訓練概要資料
6-33-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	・安全衛生委員会による、設備、機器等の安全面と機能面の確認と周知	・使用者への情報共有と周知徹底	課題なし	
6-33-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	・Hondaの安全に対する基本的な考えである「安全なくして生産なし」に基づき整備	・安全なくして生産なし ・3S(整理、整頓、清潔) ・ヒヤリ、ハットシートを機械実習場に掲示し ・整備の心得を 整備実習場に掲示し周知している	課題なし	
6-33-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	・保険加入により(建屋、設備、機器、書籍等)学園財産喪失最小限	・火災保険加入(特殊包括契約)	課題なし	
6-33-10 防災訓練を実施しているか	・有事発生に備え学生並びに教職員の安全確保に努める	・年2回開催予定の防災訓練は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学年ごとに実施した	課題なし	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から全体での防災訓練は、学年ごとに実施し、あわせて学生・全教職員に対する安否確認を実施した	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------	-------	-------

## 基準 7 学生の募集と受け入れ

募集活動において 18 才人口の減少傾向にあることに加え、車離れによる自動車専門学校希望者の減少、更に大学進学志望の高まり傾向及び高卒就職内定率の改善傾向が加わり、一層厳しい状況での学生募集となった

前年度より進めている「意欲のある学生を確保する」活動を推進し、適正な入試方法への誘引を図り獲得を目指してきた

前年度 2 月より早期の募集活動本格化し高校との絆づくり再構築を進めたこと、さらに留学生が戻ってきたことから、前年度以上の入学生 167 名を獲得できたが、目標数は未達となった

高校との絆づくりのために、募集担当、エリアマネージャーによる高校訪問を強化し、東日本をメインに 500 校を訪問して学園訴求を行った  
(埼玉県の訪問校数は 105 校)

魅力あるオープンキャンパスを企画、開催し、受験対象者来校は 366 名となり目標達成したが、オープンキャンパス来校者からの受験獲得率は 52%と伸び悩んだ

本田技研工業主催のユーザー向けイベントへも参画し、誘引活動を行った  
また、近隣の Honda 事業所へ出向き、ビラ配りの PR 活動を行った

経済的に困窮する学生も整備士就職を実現できるよう販売会社と連携し「企業奨学金制度」の導入を継続推進してきたが、企業推薦学生の獲得に向けた学生発掘には課題が残るため、販売会社連携をさらに強化し、奨学金制度活用も進めながら、企業推薦学生の獲得を増やしていく

オープンキャンパスへの来校数は前年と同じレベルにすることができたが、思うように出願へつなげることができず、結果として目標としていた 240 名の計画に対し実績 167 名と未達となった

### 【募集活動の具体的な取り組みまとめ】

- 学校見学会・体験型オープンキャンパスの開催(35 回)
- WEB オープンキャンパス開催 (44 回開催 1on1 開催)
- 参加者の応募拡大に向けたオープンキャンパス魅力アップ取り組み
- 企業奨学金導入販社の拡大 (連結販社を中心に 24 社)
- キャリア講演・出張説明会の開催(16 校)
- 募集管理システム「infoCloud」の活用強化
- HP/SNS (YouTube 等) での訴求強化
- カレッジガイドの刷新

来期は、募集→出願の最大化を図るべく、ホンダ学園に関心を持つ学生は確実に獲得できるよう、募集担当者のみならず学園の総力を挙げて募集活動を行い、募集計画 200 名獲得に向け推進する

最終更新日付

令和 6 年 5 月 1 日

記載責任者

横田 俊幸

## 7-34 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-34-1 学生募集活動は、適正に行われているか	毎年、学校全体の方針を受けて学生募集戦略と施策を策定している	募集Grを主管部門として、学校ガイダンス、オープンキャンパス、高校訪問、出張講演・説明会、また、HP、YouTube等で広報動の強化も図り、募集活動を実施	課題なし	令和5年度 方針書 学務室方針 学務室方針系統図
7-34-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	学校案内（カレッジガイド）は学生および保護者、高校の先生に「わかりやすく」を基本目標に設定している	カレッジガイド・学生募集要項の改定にあわせ、分かり易く作成した また、高校3年生、社会人、大学生、保護者に訴求を実施	課題なし	カレッジガイド 学生募集要項 ミニパンフレット 学校ホームページ
7-34-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	外部からの学校相談・入学相談はすべて学務室を中心に学園全体で対応する組織体制	募集Grを主管部門として、学校への相談・入学相談、志望者からの直接問い合わせに対応	課題なし	学務室役割表
7-34-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	全学科定員を充足できる募集活動に努力する	校内のみならず、校外のオープンキャンパスも開催。またWEBオープンキャンパスも実施	南関東エリア学生の拡大 オープンキャンパス参加者の拡大	募集Gr 活動計画書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集活動は、学務室募集Grの役割であるが、学生・保護者の皆様に選ばれるためには、学校環境や設備の充実だけでは難しく、教育の質をどう高めるか、学生が希望する就職先への内定等、募集活動以外にも多岐にわたる要素が重要である</p> <p>学務室と教務部が一体となった募集活動を実施することが不可欠であり、今後は、他校とは違う教育の特長をより分かり易く学生・保護者へ訴求していく</p>	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	横田 俊幸
--------	----------	-------	-------

## 7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-35-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	就職実績、就職先企業情報、卒業生の活躍情報などは、志願者や保護者に対して、さまざまな媒体や活動を通じて全面に打ち出しをしている	高校訪問時の提供資料や、ホームページ、カレッジガイド、各種進学媒体、オープンキャンパスでの説明などで積極的に訴求している	課題なし	学校案内パンフレット 学校ホームページ オープンキャンパス開催時の説明資料
7-35-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	オープンキャンパス参加学生の反応から学生募集貢献度を確認する	オープンキャンパス参加学生へ卒業生の活躍を紹介し、個別相談の場やアンケートで成果確認を行う	課題なし	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カレッジガイド、ホームページ掲載情報、オープンキャンパスでのプレゼン資料、高校訪問時のガイダンス資料等で卒業生の就職実績や活躍について紹介し訴求することで、新たに入学を希望する学生へ当校の教育成果を伝えており、学生募集に貢献している	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	横田 俊幸
--------	----------	-------	-------



## 7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-36-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	学生募集要項に記載し明確な基準を設けている。AO入試はアドミッションポリシーを明確にし、個別面談実施者の中から厳選し選考	推薦選考・一般選考ともに入試選考基準に基づき、入試選考委員会が選考を実施している	課題なし	学生募集要項 入試規定 入試選考基準
7-36-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	毎年度ごと数値を示すデータを作成しDB化している	入学選考基準、出願者数、合格者・不合格者数・辞退者数は明確である	課題なし	入試出願状況一覧表 学園概況資料

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考は、適正かつ、公平な基準に基づき実施している	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	横田 俊幸
--------	----------	-------	-------

## 7-37 学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-37-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	教育内容や教育経費、他校情報をもとに適正に改正を行うものとする	本年度は見直しなし	課題なし	専修学校ガイドブック
7-37-10 入学辞退者に対する授業料等の返還について適正に処理されているか	入学辞退者について、入学前に授業料を納付済みであれば、全額返金している	授業料の返還は適正に処理している (返還対象学生なし実績なし)	課題なし	
7-37-11 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	本校創立からの全科の学納金に関する情報を記録保管している	適正に把握／保管している	課題なし	学納金推移一覧表

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
特になし	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	横田 俊幸
--------	----------	-------	-------

## 基準 8 財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本学園においては、近年新入学生数の減少により在校生数が減少傾向となっており、財務状況は厳しく、今後一層経営環境が厳しくなる状況にあつては、収支均衡を是とする効率的な学校運営と経営体質強化に取り組むことが必要である</p>	<p>特になし</p> <p>参考資料：主要財務数値、予算書、補正予算書、監査計画書</p>

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-38-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	事業活動収支均衡、自己資金による学校運営をする	収支改善計画の立案を行い、実行している	経費削減を推進 入学者数増加を目指すリバイバルプランを定め募集活動を強化	収支改善計画
8-38-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	財務システムにより、正確に把握する	過去の財務データ一覧表により、状況分析が可能となっている	課題なし	計算書類 総勘定元帳 予算管理表

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
収支改善計画を立案し、施策を実行している また、状況に応じ、新たな経費削減施策も継続検討する	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-39-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	理事会・評議員会で承認可決された計画案に沿って実行する	計画に沿って実行している	課題なし	予算書、補正予算書
8-39-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	計画に従って妥当に執行する	予算管理システムによる内部統制を行っている	課題なし	予算細目実績表

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会・評議員会で承認を受け、計画案に沿って実行している	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 8-40 財務について会計監査が適正に行われているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-40-5 財務について会計監査が適正に行われているか	外部監査人による監査を実施する	公認会計士により、毎年「当年度事務処理状況及び財務諸表各項目」について適正に監査が行われている	課題なし	監査報告書
8-40-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	責任体制を明確にし、監査を妥当に行う	監査計画による期中、期末監査を実施している	課題なし	監査計画書 監査報告書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
外部監査人による監査を実施している	

最終更新日付	令和5年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 8-41 財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-41-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	積極的な財務情報の公開の体制はできている	ホンダ学園ホームページにて公開している	課題なし	
8-41-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	法令に基づいた財務情報公開の形式で公開している	ホンダ学園ホームページにて公開している	課題なし	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
	令和5年度については理事会承認後に公開

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 基準 9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は、学校教育法第3条及び第128条の規定に基づき定められた「専修学校設置基準」と自動車整備士技能検定規則第6条の18に定める自動車整備士養成の第一種養成施設「指定基準」を厳正に遵守し、適正かつ適切に学校運営を行っている</p>	<p>監督官庁である文部科学省と国土交通省運輸局の厳正な指導の基に、学校運営が適正になされている</p>

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------



## 9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-42-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され適正な運営がなされているか	該当する法令等が遵守され適正な運営を図る	該当する法令等を遵守し、適正に運営している	課題なし	「専修学校設置基準」
9-42-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	本田技研工業㈱の該当する諸規則と、学校法人に関する法令等の啓発活動を実施する	本田技研工業㈱の行動規範を配布し、職員会議にて全体周知を実施している	課題なし	本田技研工業㈱行動規範

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令、設置基準や監督官庁の許認可、届出等定められていることが適正に遵守されている	監督官庁である文部科学省と国土交通省運輸局の厳正な指導の基に、学校運営が適正になされている

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-43-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	本田技研工業㈱の該当する諸規則に則り、個人情報保護の対策や啓発活動を実施する	教職員の転入時に、個人情報取扱い者教育を実施している また、電子メモリー機器は、パスワード機能付で対応している	課題なし	
9-43-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	本田技研工業㈱の該当する諸規則に則り、個人情報保護の対策や啓発活動を実施する	教職員の転入時に個人情報取扱い者教育を実施している	課題なし	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報管理責任者を指定し、責任体制を明確化している	出入りできる範囲を制限し、機密の徹底を図っている

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-44-5 自己点検・自己評価を定期的に実施し、問題点の改善に努めているか	自己点検・自己評価の結果を、学校運営上の問題点の改善に役立てる	定期的を確認することにより、点検・評価項目を念頭に置いた業務運営が図られ、結果として業務のレベルアップに繋がっている	課題なし	自己点検自己評価報告書
9-44-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	自己点検・評価の方針を確立する	自己点検・自己評価報告書を使用し、項目ごとに主管部門・推進担当者を決めて実施している	課題なし	自己点検自己評価報告書
9-44-7 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	全教職員に周知する	自己点検・自己評価報告書を使用し、関係者との情報共有を図りながら推進している	課題なし	自己点検自己評価報告書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・自己評価の定着を図るとともに、問題点の発見・改善の精度を上げ、学校運営における効果的なツールとする	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-45-8 自己点検・自己評価結果を公開しているか	ホームページにて公開する	ホンダ学園ホームページにて公開している	課題なし	
9-45-9 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	基本方針は確立されている	ホンダ学園ホームページにて公開している	課題なし	
9-45-10 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	学校関係者評価委員及び教職員に対して公開を正確に伝える	学校関係者評価委員会及び方針説明会にて、公開を説明した	課題なし	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
公開方針・方法等の検討を行い、ホームページにて公開をした	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	中嶋 歩
--------	----------	-------	------

## 基準 10 社会貢献

	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>当校は「社会貢献の心と行動力を育む」を育成方針に掲げており、学生の自主的なボランティアや安全啓蒙活動などに支援を行っている</p> <p>寮生及び特待生を中心として地域の清掃や美化のボランティア活動も行っている</p> <p>また、日々の清掃活動の一環として、教職員も含め学校周辺の清掃も定期的実施している</p> <p>地元の市の要請に応じ、学校施設の提供や、教員の協力を行っている</p> <p>小中学校の見学や職場体験も積極的に受け入れを実施している</p>	<p>登校日の地域清掃はもちろんであるが、休日の寮近隣の清掃活動を実施。</p> <p>交通事故などに遭遇した場合、救急救命活動を積極的に行える様、教育・指導を行っており、実際に救護を行った学生に対しては学内表彰を行っている</p> <p>毎年開催している国道254号線の中央分離帯の美化活動の一環として清掃と草花の植え込みや、ふじみ野市主催のエコパで環境イベントに参画することができた</p> <p>また、近隣の小学校の社会科見学や、中学校の職場体験の受け入れを実施した</p>

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	横田 俊幸
--------	----------	-------	-------

## 10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-46-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	小中高からの要請には全面的に協力する	小・中学校の校内見学受入れ	課題なし	
10-46-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や雇用促進への支援を行っているか	生涯学習事業には全面協力する	埼玉県主催の「こども大学」受け入れ	課題なし	
10-46-3 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	協力要請により体育館使用を検討する	実績なし	課題なし	
10-46-4 諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	協力要請があれば検討する	国際協力機構等からの要請で、サウジアラビアの学校関係者の見学受入れ	課題なし	

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-46-5 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	交通四悪根絶 喫煙対策（未成年含む） 環境 福祉	・交通安全キャンペーン実施 ・望まない受動喫煙に関する講話を実施	課題なし	
10-46-6 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	交通四悪根絶 望まない受動喫煙対策 喫煙対策（未成年含む）	安全運転教育充実 1年次2日間 2年次3日間 交通教育センターにて実施 学校敷地内喫煙場所の廃止	学生の交通四悪交通事故ゼロ化	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自動車業界に就く者として、交通事故、違反は一般の人たちより重い啓蒙、指導する立場となることを自覚させるために安全運転教育には力を入れ実施した R5年4月より「望まない受動喫煙対策＝敷地内禁煙」を実施した	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	達富 由樹
--------	----------	-------	-------

## 10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-47-7 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	学生自発ボランティアへの支援は可能な限り行う	地域清掃の実施 254花の会、ふじみ野市環境イベント等に参画した	課題なし	
10-47-8 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	多大な貢献や活動をした学生には報奨を行う	貢献度大の場合は、部長表彰、又は、校長表彰を実施 (今期表彰はなし)	課題なし	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>今期は、学園周辺地域の清掃と安全衛生委員会での定期的巡回を実施</p> <p>254花の会は、学生・教職員を併せて33名で実施した</p>	

最終更新日付	令和6年5月1日	記載責任者	横田 俊幸
--------	----------	-------	-------